

HiKOKI

取扱説明書

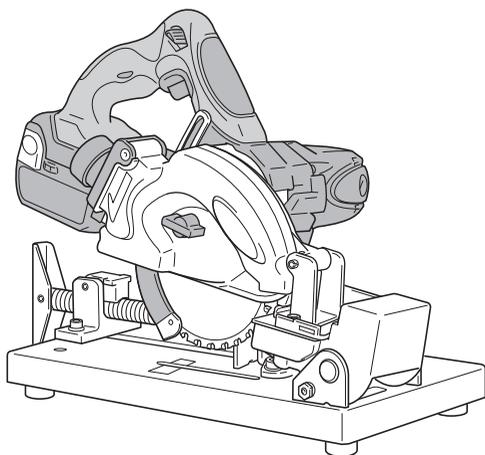
用途

- 電線管、アングル鋼、チャンネル鋼など軟鋼材の切断

ブレーキ付 コードレスチップソー切断機

125 mm CD 14DFL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



| | |
|----------------------|----|
| コードレス工具の安全上のご注意 | 1 |
| 本製品の使用上のご注意 | 4 |
| ハンディタイプとして使用する場合のご注意 | 7 |
| リチウムイオン電池の使用上のご注意 | 8 |
| 各部の名称 | 9 |
| 標準付属品 | 10 |
| 仕様 | 11 |
| 別売部品 | 13 |

はじめに

| | |
|---------|----|
| ご使用前の準備 | 14 |
| ご使用前の点検 | 15 |

準備

| | |
|---------------------|----|
| 各種操作方法について | 17 |
| ハンディタイプにする | 19 |
| 切りくずの捨て方 | 20 |
| 切断作業上のご注意 | 20 |
| 充電する | 21 |
| 切断する | 23 |
| ハンディタイプで切断する | 25 |
| チップソーの取りはずし・取付け | 27 |
| ガイド（別売部品）の使い方 | 29 |
| 集じん機（別売部品）で集じんする使い方 | 29 |

使い方

| | |
|---------|-----|
| 保守・点検 | 30 |
| ご修理のときは | 裏表紙 |

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② 正しく充電してください。**
 - この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
 - 釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ 感電に注意してください。**
 - ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- ⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。

⚠ 警告

- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ **保護メガネを使用してください。**
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
- スイッチに指を掛けて運ばないでください。工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火中に投入しないでください。**
- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具本体を使用してください。**
 - 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
 - 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠️ 注意

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスチップソー切断機（定置形）として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠️ 警告

① 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。

- チップソーが露出していると、けがの原因になります。

② チップソーは、外径 125 mm、または 130 mm の物を使用してください。

- 保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。

③ 切断する材料は、本体付属のバイスで確実に固定してください。

- 材料の固定が不十分ですと材料が飛散したり、チップソーが破損して、けがの原因になります。

⚠警告

- ④ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでチップソーがはさみつけられないように、切断する材料の受け台を設けてください。
 - チップソーがはさみつけられると、切り落とされた材料が飛散したり、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
- ⑥ 使用中は、チップソーや回転部、切りくずの排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑦ 材料切断途中や切断後、チップソーを回転させたままハンドルを持ち上げないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げるようにしてください。
 - チップソーを回転させたままハンドルを持ち上げると、強い反発力が生じたり、材料がチップソーに巻き込まれ飛散することがあり、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、チップソーや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑩ ライトは切断作業時だけ点灯してください。
 - 切断作業以外に点灯すると、不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- ⑪ 本製品は、軟鋼材切断用です。専用の弊社純正軟鋼材切断用チップソーを使用してください。
 - 切断トイシ、木材用チップソーなどを使用しますと刃物が破損し、けがの原因になります。
- ⑫ 材料を切断するときは、引火しやすいもの、傷つきやすいものは、遠ざけてください。
 - 切り落とした材料、切りくずは高温になります。また、切断火花も発生します。切りくずなどを直接手足にあてますと、けがの原因になります。
- ⑬ 切削油などを付けて切断しないでください。
 - 切削油、切削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
- ⑭ 作業中は、必ず保護メガネをご使用ください。粉じんが出る場合はマスクもつけてください。
- ⑮ 騒音から耳を保護するため、耳栓を着用してください。
- ⑯ スイッチロックは固定しないでください。また、運搬時には、スイッチから指をはなしてください。
 - 不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。

⚠ 警告

- ⑰ 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- ⑱ 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。ハンドルをまっすぐにゆっくりと押し下げてください。
- ⑲ 連続して作業するときは、1回の切断または切込みが終わるごとに、スイッチを切ってチップソーの回転が停止したのを確認し、切り落とした材料を取除いてから、次の段取りをしてください。

⚠ 注意

- ① 刃物類（チップソーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、本体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - 異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - チップソー（モーター部）が下降したりし、けがの原因になります。
- ⑥ 切断する材料の上に手を置いたりしないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑦ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
 - 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑧ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑨ 蓄電池は確実に取付けてください。
 - 確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

ハンディタイプとして使用する場合のご注意

本製品は、バイススタンドから本体（カッター部）を取りはずし、ハンディタイプとして使用することができます。

先にコードレス工具としての共通の注意事項と、コードレスチップソー切断機（定置形）としての注意事項を述べましたが、ハンディタイプとしてさらに次に述べる注意事項を守ってください

⚠警告

① 刃底径が 100 mm 以下のチップソーは使用しないでください。

- 保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。

② 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。

- 台が不安定であると、けがの原因になります。

③ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでチップソーがはさみつけられないように、切断する材料の受け台を設けてください。

- チップソーがはさみつけられると、切り落とされた材料が飛散したり、けがの原因になります。

④ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。

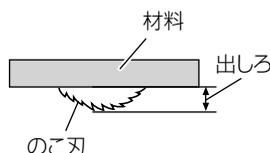
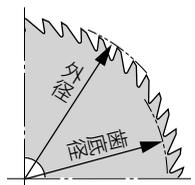
また、切り落とした材料がチップソーと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、チップソーの出しろの 3 倍以上にしてください。

- このような台がないと、けがの原因になります。

⑤ 切断途中で、チップソーを回転させたまま本体を戻さないでください。

必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。

- 回転させたまま本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。



⚠注意

① 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。

- 強い反発力が生じ、けがの原因になります。

② 材料に釘などの異物がついていないことを確認してください。

- 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

③ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。

- 不意の接触などで、けがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなると(電池電圧8Vまで低下)モーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

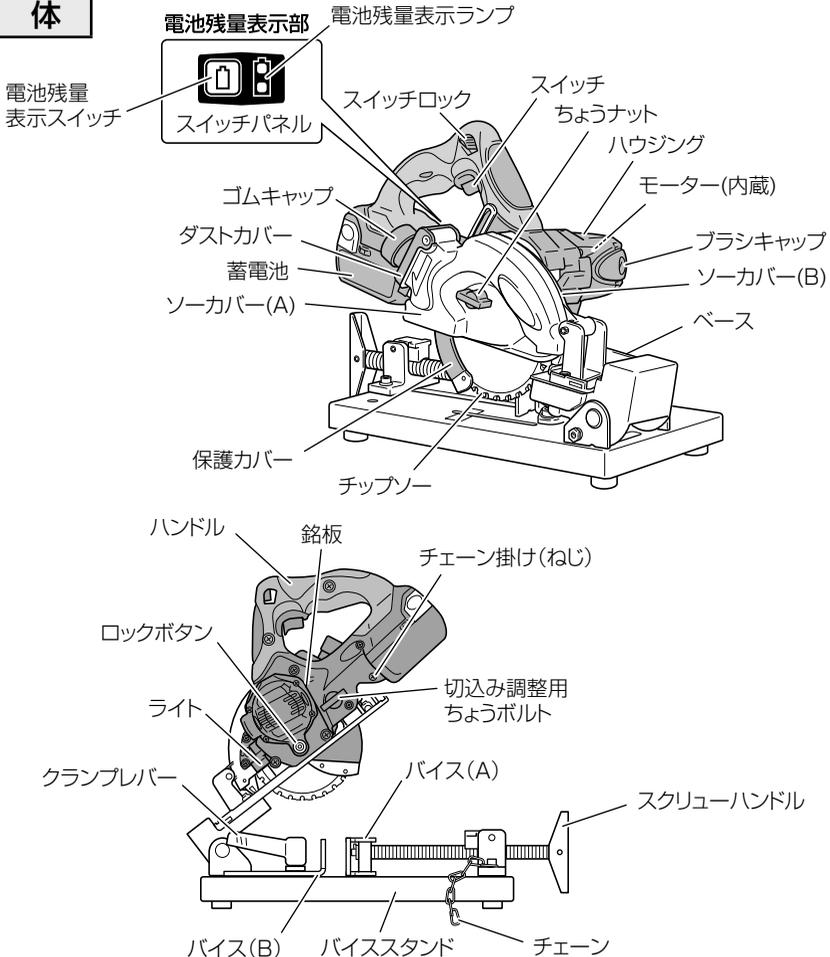
- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠注意

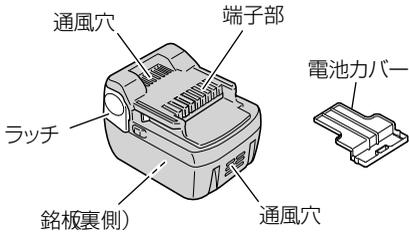
- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、サビや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないで買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

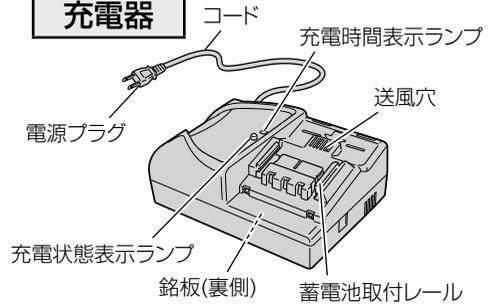
本体



蓄電池



充電器



標準付属品

| 品名 (形名) | 仕様 | LSC | LLC | LJC | NN |
|--------------------------------------|----|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------|
| チップソー (軟鋼材用) 外径 125 mm × 穴径 20 mm | | 1 枚 (本体装着) | 1 枚 (本体装着) | 1 枚 (本体装着) | 1 枚 (本体装着) |
| 六角棒スパナ 4 mm、5 mm | | 各 1 本 | 各 1 本 | 各 1 本 | 各 1 本 |
| 保護メガネ | | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| サブベース | | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| 蓄電池 | | BSL1430 1 個 (本体装着) | BSL1440 1 個 (本体装着) | BSL1450 1 個 (本体装着) | — |
| 充電器 (UC 18YSL2) | | 1 台 | 1 台 | 1 台 | — |
| チューブ | | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| 電池カバー | | 1 個 | 1 個 | 1 個 | — |

仕 様

1. 工具本体仕様

| 形 名 | | CD 14DFL | |
|---------------------|------------|---------------------------------------|---------------|
| モ ー タ ー | | 直流モーター | |
| ※最大切断能力 | バイス角0°(直角) | 丸パイプ外径 | 40 mm |
| | バイス角左45° | 角パイプ(幅×高さ) | 40 mm × 40 mm |
| アングル鋼(幅×高さ) | | 40 mm × 40 mm | |
| 丸パイプ外径 | | 40 mm | |
| | | 角パイプ(幅×高さ) | 30 mm × 40 mm |
| | | アングル鋼(幅×高さ) | 30 mm × 30 mm |
| 角 度 切 り 範 囲 | | 0°～左45° | |
| チ ッ プ ソ ー 寸 法 | | 外径 125 mm × 穴径 20 mm (外径 130 mm も使用可) | |
| 無 負 荷 回 転 数 | | 3,600 min ⁻¹ {回/分} | |
| 蓄 電 池 | | 円筒密閉形リチウムイオン電池 | |
| 電 池 電 圧 | | 14.4 V | |
| 本 体 寸 法 全長×全高×全幅 | | 394 mm × 365 mm × 216 mm (蓄電池装着時) | |
| 質 量 | | 6.3 kg (蓄電池装着時) | |
| L E D ラ イ ト | | 白色 LED | |
| 残 量 表 示 ラ ン プ | | 赤色 LED | |

- ※ {
- 材料メーカーによっては外形寸法が大きめにできている場合があります。切り残しがでる場合には、別売の外径 130 mm × 穴径 20 mm チップソーをご使用ください。
 - ハンディタイプで使用する場合の最大切込み深さは、45 mm です。

2. 充電器仕様

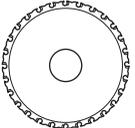
| 形名 | UC 18YSL2 | |
|-------------------|--|--------|
| 入力電源 | 単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V | |
| 充電時間 [気温 20℃時] | BSL1850/BSL1825/BSL1450/BSL1425 | 約 35 分 |
| | BSL1840/BSL1440/BSL1420 | 約 30 分 |
| | BSL1830/BSL1430/BSL1415 | 約 22 分 |
| 充電電圧 | 14.4 V - 18 V | |
| 充電電流 | BSL1850/BSL1840/BSL1830 BSL1450/BSL1440/BSL1430 | 7.5 A |
| | BSL1825/BSL1425/BSL1420/BSL1415 | 3.5 A |
| | | |
| コード | 2 心ビニールコード | |
| 質量 | 0.7 kg | |
| 使用温度範囲 | 0℃～40℃ | |
| 冷却 | 対応 (ファン付き) | |
| ブザー音 | あり | |

3. 蓄電池仕様

| 形名 | BSL 1430 | BSL 1440 | BSL 1450 |
|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 容量 | 3.0 Ah {3,000 mAh} | 4.0 Ah {4,000 mAh} | 5.0 Ah {5,000 mAh} |
| 冷却 | 対応 | | |

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせ下さい。

| | |
|---|--|
| <p>14.4V 蓄電池</p> <p>BSL1430 BSL1440 BSL1450</p> <p>標準付属品と同形です。 (NN 仕様を除く) 予備電池として ご利用ください。</p>  | <p>軟鋼材用チップソー (外径 125 mm、130 mm)</p> <p>その他のチップソーはハンディタイプとしてご使用の場合にご利用ください。</p>  |
| <p>ガイド (P.29 参照)</p> <p>ハンディタイプとしてご使用の場合にご利用ください。</p>  | <p>電動工具用集じん機</p> <p>本製品は、電動工具用集じん機に接続して使用することができます。木材切断作業時にご利用ください。なお、ホースの取付け方は P.29 をご参照ください。</p>  |

ご使用前の準備

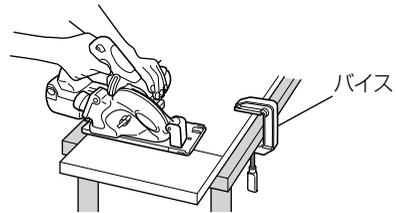
●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●すえ付け

- 傾斜のない平坦な場所へ安定した状態にすえ付けてください。
- 工場出荷時にチェーンで可動部を固定しておりますので、ハンドルを少し下に押しチェーンをチェーン掛けからはずしてください。機体を移動させるときは、チェーンを掛けてください。(P.9「各部の名称」参照)

●ハンディタイプとして使用する場合は作業台(木製)を用意します

- チップソーが材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。
- 材料の切り残し側を、しっかり押さえてください。
- バイスで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前の点検

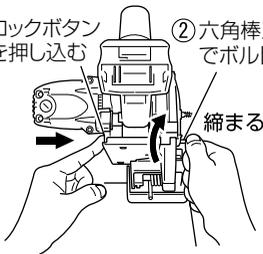
警告

使用前に次のことを確認してください。手順①～③については、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で確認してください。

注 ① ロックボタンが元の位置に戻らない場合、③ 保護カバーが円滑に動かない場合、⑥ ブレーキが正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

1 チップソーの締付けを確かめる

- ① ロックボタンを押し込む ② 六角棒スパナ(4mm)でボルトを回す



- ちょうナットをゆるめ、ソーカバー(A)をはずします。
- ロックボタンを押し込みながら、付属の六角棒スパナ(4mm)でボルトを時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。
- ソーカバー(A)を元通りに取付けます。

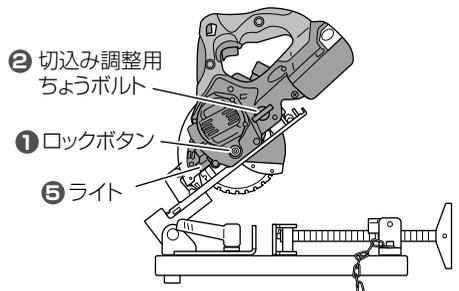
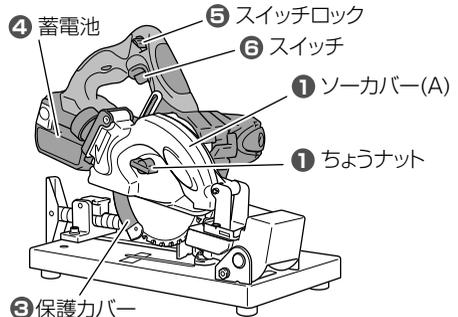
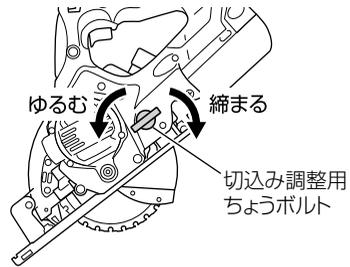
注 チップソーを締付けた後、ロックボタンが元の位置に戻っていることを確認してください。

3 保護カバーの動きを確かめる

- 保護カバーは、身体がチップソーに触れるのを防ぐものです。
- 必ずチップソーをおおうように円滑に動くことを確認してください。

2 切込み調整用ちょうボルトの締付けを確かめる

(P.24①、P.26①参照)
ゆるんでいるときは、締付けます。

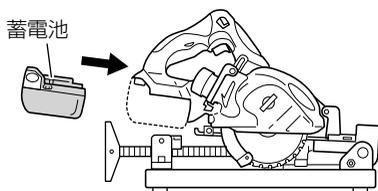


⚠ 警告

- チップソーの締付けボルト、切込み調整用ちょうボルトが十分に締まっていることを確認してください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。
チップソーが露出していると、けがの原因になります。

4 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



⚠ 注意

蓄電池は確実に取付けてください。
確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

5 ライトの点灯を確認する

スイッチロックを押すと点灯し、はなすと消灯します。

- 注** ライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。
ライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

6 ブレーキがかかることを確かめる

- この本体はスイッチを切ると同時に、チップソーの回転にブレーキがかかる構造になっています。
- ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。
(P.17「スイッチの操作について」参照)

⚠ 注意

ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
チップソー（モーター部）が急に下降したり、ハンディタイプでご使用のときは、本体を落とすなど、けがの原因になります。

各種操作方法について

●スイッチの操作について

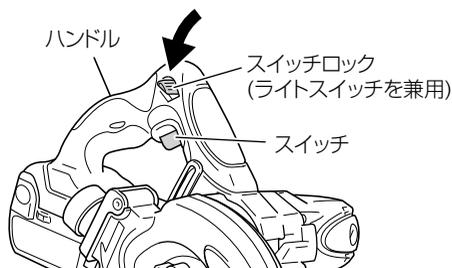
本機は安全に操作していただくため、ハンドル側面に「スイッチロック」が付いております。

「スイッチロック」を矢印側に押した状態でスイッチを引くと本体スイッチが入ります。

また、「スイッチロック」はライトスイッチを兼用しており、「スイッチロック」を押すとライトが点灯し、刃先部を照らします。

本体スイッチが入った後は、スイッチロックから手をはなしても、スイッチを引いているかぎり、運転を続けます。ライトも点灯し続けます。

スイッチをはなすと本体スイッチが切れます。同時に「スイッチロック」は自動的に戻り、ライトも消灯します。



●電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

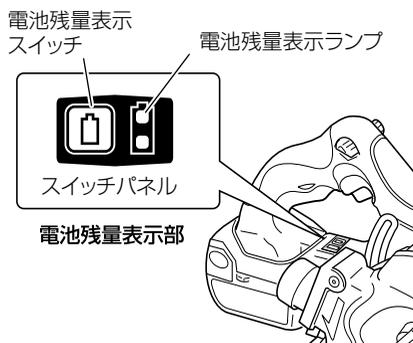
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

| ランプの点灯状態 | 電池残量 |
|---|---------------------------|
|  | 十分電池残量があります。 |
|  | 電池残量が約半分になっています。 |
|  | 非常に少なくなっています。早めに充電してください。 |

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



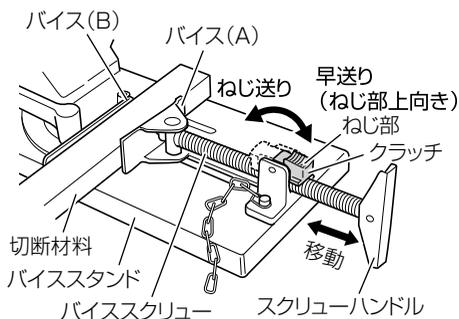
注 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

●ワンタッチバイスについて

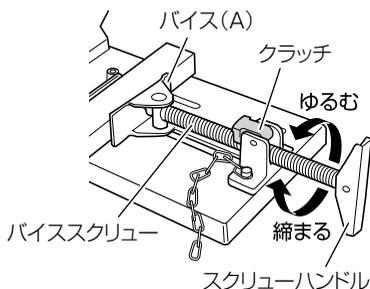
本製品は、クラッチの向きを変えることにより、バイス (A) の早送りとねじ送りの切替えができます。

切断する材料に合わせて使い分けることにより能率よく作業できます。

- クラッチのねじ部を上向きにしたとき、スクリューハンドルを押し下ろしたり引いたりすればバイス (A) の早送りができます。



- クラッチのねじ部をバイススクリューにかみ合わせたとき、スクリューハンドルを回せばバイス (A) のねじ送りができます。



注 クラッチを起こそうとしても動かない場合は、スクリューハンドルを少し回してください。

●切断角度の調整について

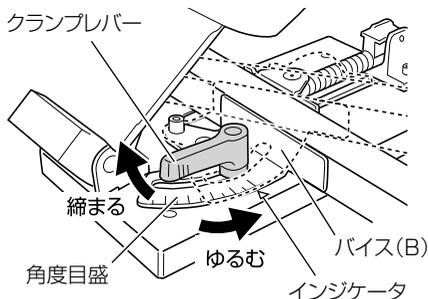
⚠注意

切断角度設定後、クランプレバーを確実に締付けてください。

締付けが不十分ですと切断時に、バイス (B) が動き切断精度が悪くなるばかりでなく、材料が飛んだり、チップソーが破損してけがの原因になります。

本製品は、45度までの角度切断ができます。

クランプレバーをゆるめ、インジケータに角度目盛を合わせればバイス (B) の角度が設定できます。



ハンディタイプにする

⚠ 警告

- バイススタンド、サブベースの取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- バイススタンド、サブベースの取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください。

⚠ 注意

バイススタンドを使用しないときは、保護カバーストッパ先端部に付属のチューブを取付けてください。けがの原因になります。



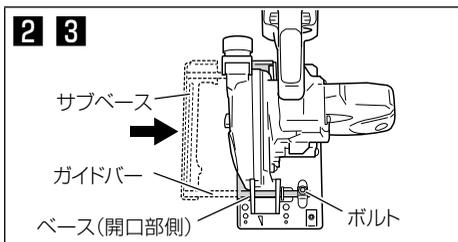
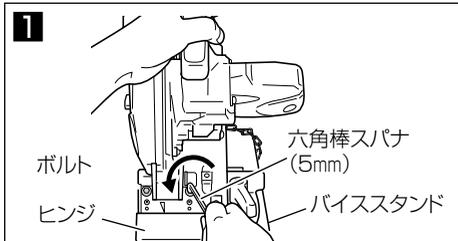
- 1** 付属の六角棒スパナ (5 mm) で反時計方向に回し、ボルト (2 本) をはずして、バイススタンドから取りはずしてください。

ボルトを抜くときは、本体 (カッター部) を片手で支えてください。

- 注** はずしたボルト (2 本) は紛失しないようにヒンジにねじ込んでおいてください。

- 2** サブベースのガイドバーを本体 (カッター部) のベース (開口部側) の穴から通します。

- 3** サブベースが本体 (カッター部) のベースに突き当たるまで押し込み、ボルト (2 本) を六角棒スパナ (4 mm) で時計方向に回し、十分に締付けます。



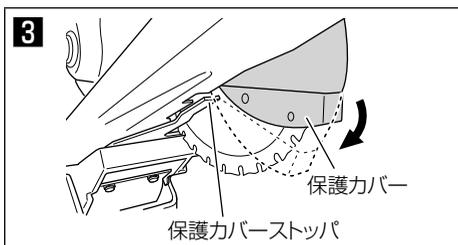
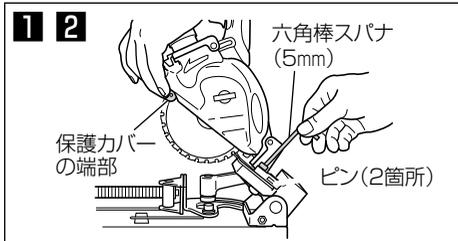
定置形に戻すには

切断機としてご使用になる場合は、上記を逆の手順で行ってください。

- 1** 保護カバーストッパのチューブをはずし、保護カバーの端部を持ってギヤカバーの中に引き込み、バイススタンドピン (2 箇所) と本体 (カッター部) のベース前方の穴 (2 箇所) を、位置合せします。

- 2** 六角棒スパナ (5 mm) で、ハンディタイプとして使用する際に取りはずしたボルト (2 本) を時計方向に回し、十分に締付けます。

- 3** 保護カバーをゆっくり戻して、保護カバーストッパに引っ掛かることを確認してください。

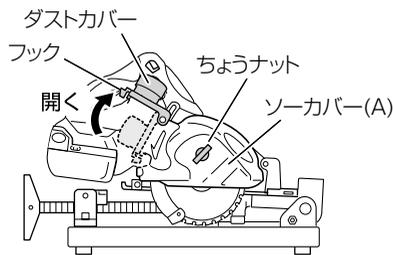


切くずの捨て方

- 注**
- ソーカバー (A) 内の切りくずが満杯のまま使用すると、集じん率が低下します。必ず切りくずが満杯になる前に捨てるようにしてください。
 - 材料によっては、切断直後、切りくずが高温になります。直接切りくずに手などを触れないようにしてください。
 - 切りくずを捨てるときに、本体のモーター部、および蓄電池取付部に切りくずが入らないようにしてください。

1 ダストカバー下方にあるフックを押し、ダストカバーを開き、ソーカバー (A) 内の切りくずを捨てます。

2 ダストカバーを閉じて、フックを掛けてください。



切断作業上のご注意

●切断能力

本体の一充電当たりの切断量の目安を示します。(切断量は被削材の状態、チップソーの種類、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。)

| 被削材 | | 形名 蓄電池 | CD14DFL BSL1450 |
|-------------------|--|-----------|--------------------|
| 電線管 | 外径 26 mm × 厚さ 1.6 mm | | 185 カット |
| リップ溝形鋼 (C チャン) | 幅 60 mm × 高さ 30 mm × 厚さ 2.3 mm (ハンディタイプで切断) | | 100 カット |

●1 充電あたりの切断量を増やすためには

- 切断するとき以外の運転 (無負荷運転) は少なくしてください。
- 切断中に本体をこじったり、ハンドルを強く押し下げたりして、モーターに無理をかけたください。
- 切れ味の悪いチップソーは使用しないでください。

●連続作業について

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3

電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.22「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき

ラッチ(両側)

蓄電池

① 押す

② 引き抜く

• 蓄電池をしっかりとかき当たるまでさし込んでください。

• 充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤 / 橙 / 緑のいずれかに

連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

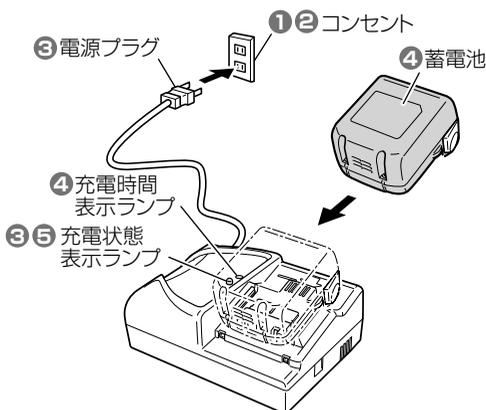
警告

手順①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5

充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間

BSL1430 : 約 22 分

BSL1440 : 約 30 分

BSL1450 : 約 35 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」が ついてます。

各ランプの表示内容は以下のように なっています。

| ランプ | ランプの表示 | | 表示内容 |
|---------------|--------|--|--|
| 充電時間 表示ランプ | 赤点灯 | 連続点灯  | 充電完了まで約 30 分 |
| | 橙点灯 | 連続点灯  | 充電完了まで約 20 分 |
| | 緑点灯 | 連続点灯  | 充電完了まで約 5 分 |
| | 赤点滅 | 0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯  | 蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。) |
| 充電状態 表示ランプ | 赤点滅 | 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯  | 電源にさし込んだ状態 |
| | 緑点灯 | 連続点灯  | 充電完了 |
| | 橙の速い点滅 | 0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  | 充電器または蓄電池に異常あります。 (下記参照) |

注 ● 橙の速い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

- 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 本体を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- 本体の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかしたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のついた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

切断する

パイプで軟鋼材（電線管、角パイプ、アングル鋼など）を固定して切断します。

警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時にはスイッチから指をはなしてください。不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、チップソーの寿命を短くします。
- 切り落とし側が薄い場合は、切断後、チップソーを回転させたままハンドルを持ち上げると、強い反発力が生じたり、切り落した材料がチップソーと接触して飛散することがあり、けがの原因になります。チップソーが完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。

注意

- ハンドルを急激に押し下げてチップソーを材料に強く当てないでください。チップの欠けや、台金割れの原因になります。
- 万一、切断中にチップソーが停止した場合は、直ちにスイッチを切り材料からチップソーをはなしてください。その後、無負荷運転を行い、異常のないことを確認してください。

- 注**
- 切断を始める前に、チップソーの回転が最高速になるようにしてください。
 - ロックボタン（P.9の図参照）は、チップソー軸を固定するものです。モーター運転中は絶対に押さないでください。
 - 予備の蓄電池を用意し、次々と蓄電池を交換しながら連続運転する場合は、モーターが過熱するので、ハウジングが熱くなったら本体をしばらく休ませてください。
 - この刃のロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。

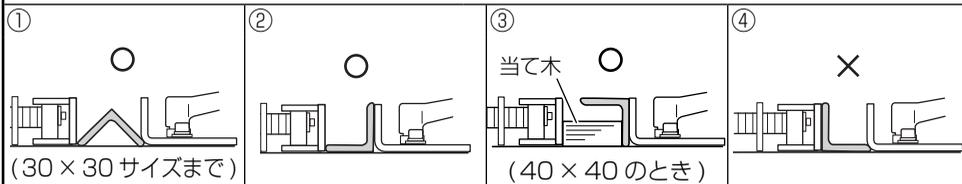
アングル鋼の固定方法

材料がアングル鋼の場合は、必ず①～③図のように固定してください。

②で切り残しがある場合には③で切断してください。

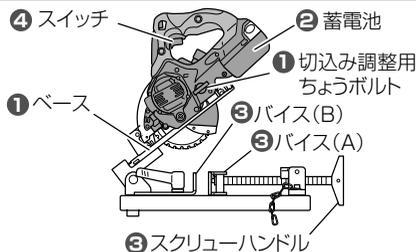
アングル鋼を④図のように固定しないでください。

④図の状態では固定し、切断すると材料が動き、切断精度が悪くなる場合があります。



警告

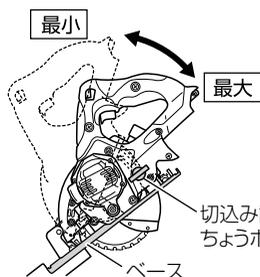
万一の事故を防止するため、①はスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で調整してください。



1 切込み深さを最大にする

切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、ベースを本体側に突き当たるまで押し込み、チップソーが一番出た状態にします。

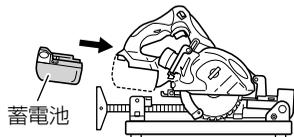
切込み調整用ちょうボルトを締付けてベースを固定します。



注 切込み調整用ちょうボルトの調整後は、ベースがしっかり固定されている事を確認してください。

2 蓄電池を取付ける

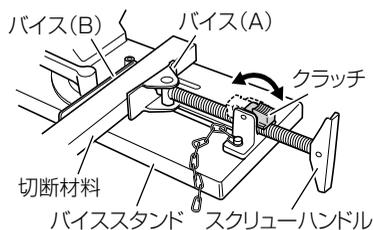
下図の向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりとさし込んでください。



3 材料を固定する

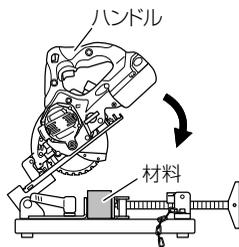
材料をバイス (B) 面に確実に突き当て、クラッチのねじ部を上向きにした状態でハンドルを押し、バイス (A) を材料に軽く押し当てクラッチを戻し、スクリューハンドルを回して材料を確実に固定してください。

(P.18「ワンタッチバイスについて」参照)
(P.23「アングル綱の固定方法」参照)



4 切断する

- チップソーが材料に触れない状態でスイッチを入れます。
- ハンドルを徐々に押し下げて切込みます。
- 火花が一番少ない状態を目安に切込んでください。
- 切断が終わったらスイッチを切り、チップソーの回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げ、元の位置に戻してください。



ハンディタイプで切断する

警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時にはスイッチから指をはなしてください。
不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- ライトは切断作業のときだけ点灯してください。
切断作業時以外に点灯すると、不用意にモーターが起動し思わぬ事故をおこすことがあります。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。
反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、チップソーの寿命を短くします。
- チップソーを上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。
けがの原因になります。

注 • 切断を始める前に、チップソーの回転が最高速になるようにしてください。

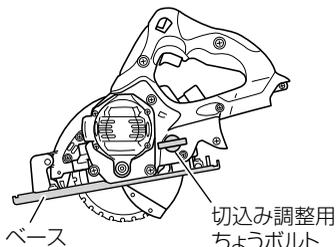
- ロックボタン (P.9 の図参照) は、チップソー軸を固定するものです。モーター運転中は絶対に押さないでください。
- 予備の蓄電池を用意し、次々と蓄電池を交換しながら連続運転する場合は、モーターが過熱するので、ハウジングが熱くなったら本体をしばらく休ませてください。
- 材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。
モーターがロックする場合があります。
- この刃のロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。
数秒間ロックを続けると、モーターの故障や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。

⚠ 警告

万一の事故を防止するため、①はスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で調整してください。

1 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

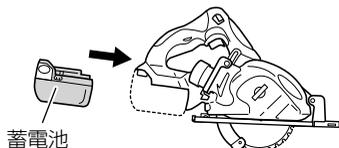
切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み調整用ちょうボルトを締付けてベースを固定します。



注 切込み調整用ちょうボルトの調整後は、ベースがしっかり固定されている事を確認してください。ベースがしっかり固定されていないと、けがの原因になります。

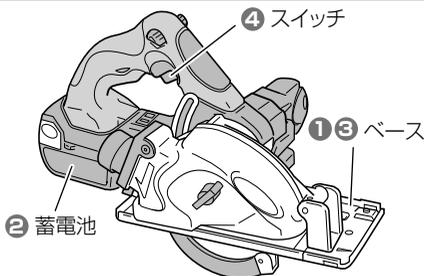
2 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



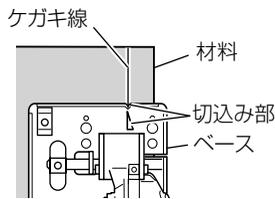
⚠ 注意

蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。



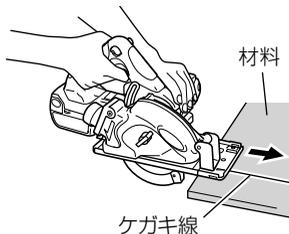
3 ケガキ線に合わせる

材料の上に本体(ベース)をのせ、ケガキ線とチップソーの位置をベース前部の切込み部で合わせます。



4 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

- チップソーが材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



チップソーの取りはずし・取付け

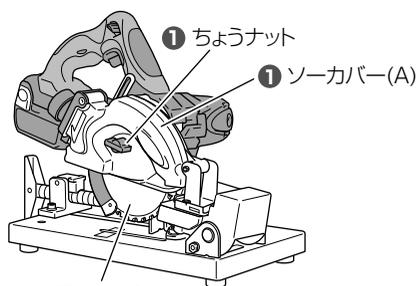
⚠ 警告

- チップソーの取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。
- チップソーの取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください。

●チップソーの取りはずし

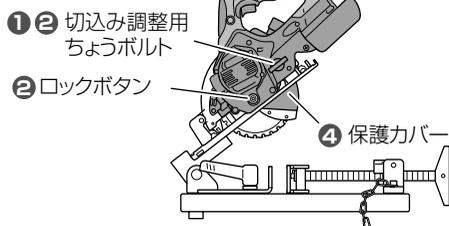
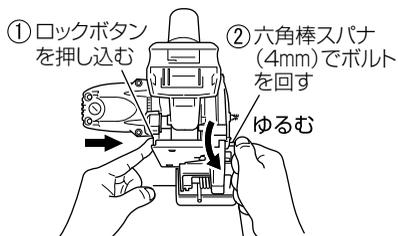
1 ちょうナットをゆるめ、ソーカバー (A) をはずす。切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、切込み深さを最大にする

(P.24 の 1 参照)



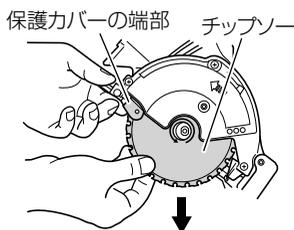
2 チップソー軸を固定する

ロックボタンを押し込みながら、付属の六角棒スパナ (4 mm) でボルトを反時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。この状態でチップソー軸が固定されます。



4 チップソーを取りはずす

保護カバーの端部を持って、保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、チップソーを取りはずします。



3 六角棒スパナ (4 mm) を反時計方向に回し、ボルトとワッシャ (B) をはずす

● チップソーの取付け

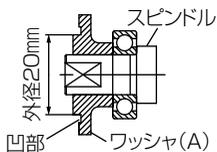
1 切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、切込み深さを最大にする

(P.24の①参照)

注 チップソーの取付け前にスピンドルや、ワッシャ(A)、ワッシャ(B)に付いている切りくずをよくふき取ってください。

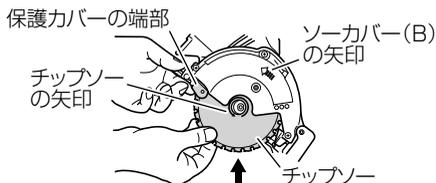
2 ワッシャ(A)を下図の向きに取付ける

ワッシャ(A)は、穴径20mmのチップソーだけが取付けできるようになっています。



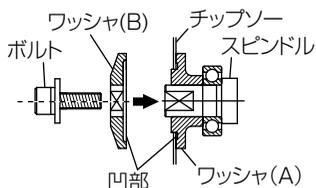
3 チップソーを取付ける

保護カバーの端部を持って、保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、チップソーの矢印がソーカバー(B)の矢印方向と一致するようにチップソーを取付けます。



4 チップソーを固定する

ワッシャ(B)の凹部をチップソー側にして取付け、ロックボタンを押し込みチップソー軸を固定して、六角棒スパナ(4mm)でボルトを時計方向に十分に締付けます。(P.15の①参照)



5 ソーカバー(A)を取付け、ちょうナットを締付ける

6 ハンディタイプの場合は、切込み深さを調整し、切込調整用ちょうボルトを締付ける

ロックボタンが元に戻っており、チップソーが円滑に回転することを確認します。(P.26の①参照)

⚠ 警告

ボルトの着脱は付属の六角棒スパナで作業してください。

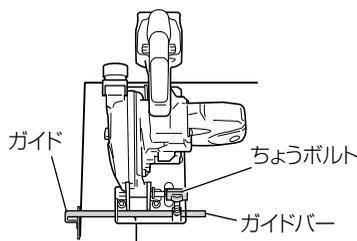
付属以外の工具を使用すると、締め過ぎや締め付け不足になり、けがの原因になります。

- 注**
- ワッシャ(A)の取付け方向を誤ると、チップソーを取付けることができません。
 - ワッシャ(A)、ワッシャ(B)は必ず本体に取付けてあるものを使用してください。
 - チップソーを締め付けた後、ロックボタンが元の位置に戻っていることを確認してください。

ガイド（別売部品）の使い方

ガイドは材料の端面に対して平行に切断するとき 사용합니다。（ハンディタイプの場合）

- 1 ガイドのガイドバーを、ベース側面（切り落とし側）の穴に通します。
- 2 ガイドを左右に動かして切断位置を調整し、ガイドに同梱のちょうボルトを締付け、ガイドバーをしっかりと固定します。

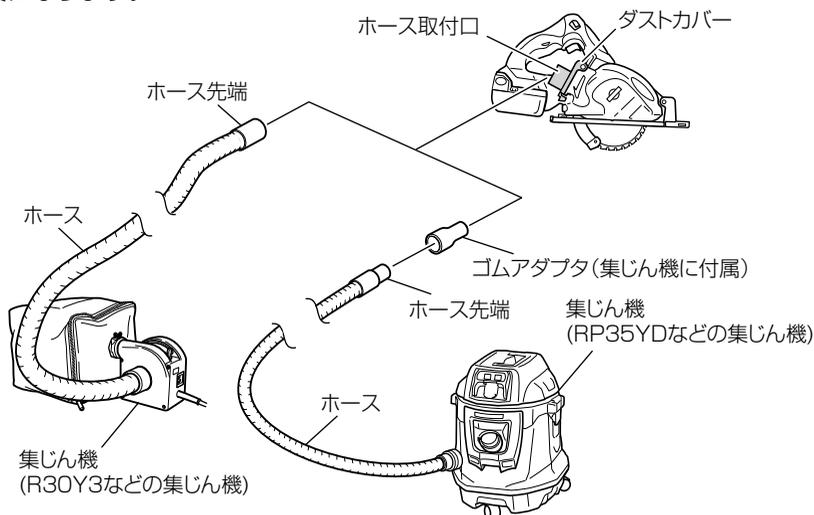


集じん機（別売部品）で集じんする使い方

⚠ 警告

- 本体を集じん機に接続する際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。思わぬ事故の原因になります。
- 集じん機の使用方法、集じんできる切りくずなどについては、集じん機の取扱説明書をよくお読みください。
- 金属切断作業時には火花が発生します。集じん機を接続しないでください。

- 1 ダストカバーの後方に取付いているゴムキャップをはずします。
- 2 集じん機に付属されているホースを、ホース取付口にさし込みます。RP35YDなどの集じん機に接続する場合は、集じん機に付属のゴムアダプタが必要になります。



保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●チップソーの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。

また、蓄電池の消費が増え、使用時間が短くなりますので早めに目立てするか、新品と交換してください。

⚠ 警告

切れ味の悪くなったチップソーはそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●保護カバーの動作点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

●モーター部の取扱いについて

モーター部 (P.9「各部の名称」参照) の巻線は本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

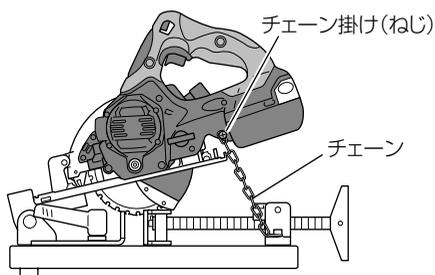
●ソーカバー (A) 内の掃除

切粉等がたまらないように定期的に点検・掃除してください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。また、長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

チェーンをチェーン掛け（ねじ）に取付けると、コンパクトに収納できます。



- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

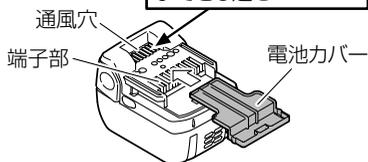
●蓄電池について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケース等に保管するときは、ケース内に導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

通風穴が見えなくなる
までさし込む



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3ヶ月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

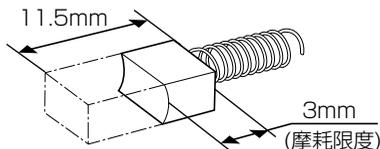


●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(3mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

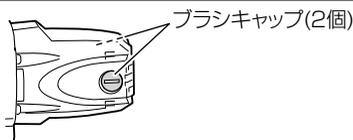
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

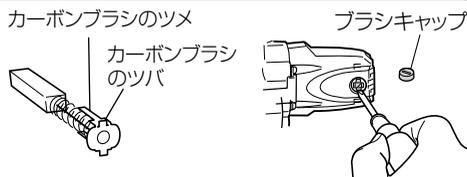
1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。



2 カーボンブラシを取り出す

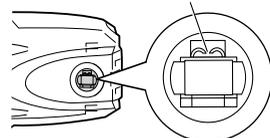
カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っ掛けて、取り出します。



3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。

ブラシチューブ外側の接触部



注 カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください(ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い)。

間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

| | | |
|-----------|-------|------------|
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 製造番号 (NO.) |
| 販売店 (TEL) | | |

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

| | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ●営業本部 TEL (03) 5783-0626 | ●北陸支店 TEL (076) 263-4311 |
| ●北海道支店 TEL (011) 896-1740 | ●関西支店 TEL (0798) 37-2665 |
| ●東北支店 TEL (022) 288-8676 | ●中国支店 TEL (082) 504-8282 |
| ●関東支店 TEL (03) 6738-0872 | ●四国支店 TEL (087) 863-6761 |
| ●中部支店 TEL (052) 533-0231 | ●九州支店 TEL (092) 621-5772 |

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>